

## 研究テーマ

一人一人がめあてをもって  
進んで体力づくりに取り組む子供の育成

## 南種子町立平山小学校

〒891-3702

熊毛郡南種子町平山1622番地

TEL0997-26-7001

FAX0997-26-7234

## 1 実施内容（計画、活動、対象、主な内容等）

- (1) 教科体育の充実・実践～一人一人がめあてをもって、進んで体力づくりに取り組む学習活動の工夫～
  - ア 年間指導計画の工夫・改善
    - ・系統性を考えた年間指導計画の見直し・複合型（ステージ型とスパイラル型）の指導計画の設定
    - ・単元の指導計画の工夫
      - ・ラジオ体操の年間指導計画への位置付け
  - イ 一単位時間の学習指導過程の工夫
    - ・めあて設定の工夫
      - ・学習カードの活用
      - ・準備運動における「ラジオ体操」の位置付け
    - ・主運動にかかる補助運動
      - ・活動の場の工夫
      - ・主運動のコツを考察する場の設定
    - ・教育機器を活用した支援
      - ・活動を振り返る場の設定
      - ・整理運動「平山ストレッチ」の位置付け
  - ウ 器械運動領域における評価規準の作成と活用
    - ・単元の評価規準の作成
      - ・学習活動に即した評価規準の作成
      - ・子供の具体的な姿の想定
  - エ 地域スポーツ人材の活用
    - ・教科体育における技能習得及びラジオ体操に特化した指導における地域人材の活用
- (2) 教科外体育の充実・実践～進んで体力づくりに取り組む運動機会の工夫～
  - ア 教科外体育の体力づくりに関する年間計画の工夫・改善
    - ・体力づくり年間計画の作成
      - ・わくわくタイム年間計画の作成
      - ・体育的行事の充実
  - イ 一校一運動の推進
    - ・ラジオ体操を中心とした取組
      - ・平山ストレッチへの取組
      - ・一輪車への取組
  - ウ 体力づくりの場の設定
    - ・体力づくりコーナーの活用
      - ・固定施設の活用
- (3) 家庭・地域との連携～進んで体力づくりに取り組む家庭・地域との連携の工夫～
  - ア 学校保健委員会との連携について
    - ・「歯ッピータイム！」の取組
      - ・一家庭一運動（親子ラジオ体操、平山ストレッチ）の取組
  - イ 保健だよりや掲示物の工夫について
    - ・「歯ッピータイム！だより」の工夫
      - ・「たいいくだより」の工夫
      - ・掲示物の工夫
  - ウ 地域との連携について
    - ・校内相撲大会と町奉納相撲大会への参加
      - ・地区合同秋季大運動会
    - ・スポーツ少年団を活かした取組
      - ・校区一斉ラジオ体操&クリーン作戦の取組

## 2 実施上で工夫したこと

- (1) 板書やワークシート、カードを工夫し、子供一人一人に適切なめあてをもたせるようにした。
- (2) 教科外体育を充実させるために年間を通した計画を作成し計画的に実施した。
- (3) 「平山ストレッチ」と「ラジオ体操」を「一家庭一運動」に取り入れ、家庭との連携を年間を通して図り、反省点を家庭に還元しながら取り組んだ。
- (4) 教科体育を充実させるために地域スポーツ人材を積極的に活用した。

## 3 主な成果

- (1) 一人一人にめあてをもたせるための手立てにより、個のめあてが明確になり、子供たち自身が自分の課題に気づき、子供自らが運動意欲を高められるとともに、技能の習得につながった。
- (2) 学校行事と関連付けて単元配列を工夫したことにより、行事に向けて目標をもち、子供たちが主体的に運動に励むようになった。
- (3) 体力づくりコーナーを子供が気軽にできる場所に設置したことで、子供の興味関心が高まり、運動に意欲的に取り組むようになった。

- (4) ラジオ体操を年間指導計画に位置付け、動きに気を付けながら全校で取り組むことで子供たちのラジオ体操の動きが正確になるとともに、立つ姿勢や体育座りの姿勢も正しくなった。
- (5) 学校から配布されているカードの意図を保護者に理解してもらうことで、保護者の意識が変容し、親子で運動をする様子が多く見受けられるようになった。

**4 実践の様子（写真，絵図，グラフ等）**



【一人一人がめあてを考えている様子】



【保護者に配布している平山ストレッチリーフレット】



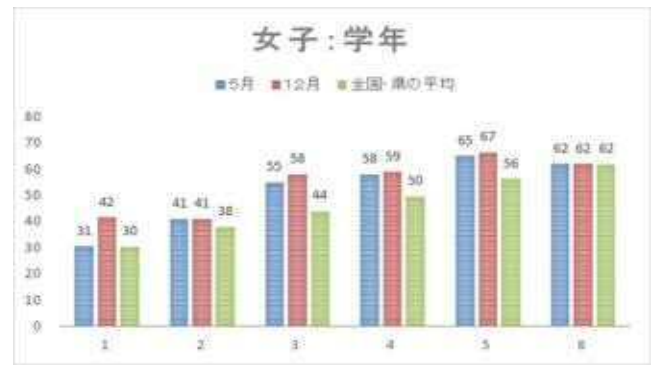
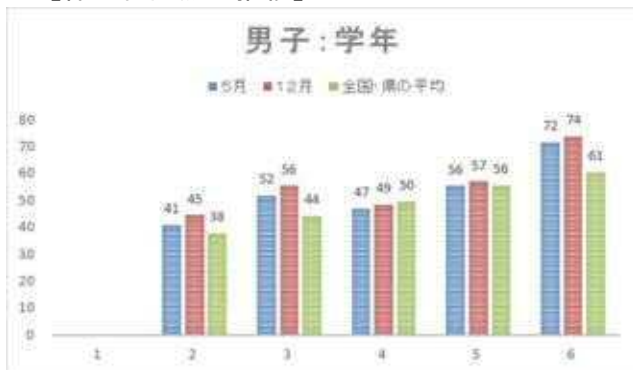
【平山ストレッチ（手ながえび）】



【ラジオ体操に取り組む子供の様子】

子供たちがめあてをもち、自らの課題を解決するために進んで活動に取り組む姿が多く見受けられるようになった。子供の意識の継続や教育効果を高めるために家庭との連携を図ることの大切さがよく分かった。

【体力合計点の推移】



体力ナビによる個票を保護者にも配布することで、親子で体力づくりに取り組む姿が見られた。

【スポーツ人材活用】



【走る時の腕の振り方の指導】



【児童、保護者へのラジオ体操指導】

安全及び学習指導の充実のためにスポーツ人材の協力をいただいた。

運動の技術的なコツやラジオ体操のポイントや意義を教えてもらい、子供たちの体育科学習への関心が高まった。また、ラジオ体操を子供だけではなく、保護者や職員にも指導

していただくことで、家庭と学校が共通理解を図りながら連携を深めることができました。